

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成29年 2月 20日

【受託法人名】

NPO法人ハートフルハート未来を育む会

【受託業務名】

臨床心理士による心のケア相談会

【事業概要】

事業内容	<p>①子育てに関する心のケア相談会 年10回、当該月の第1月曜日に郡山市元気な遊びのひろば(ペップキッズこおりやま)において、そこを利用する保護者等からの震災等に起因するものも含めた子育てに関する相談を受ける。</p> <p>②親子あそびと親ミーティング 年7回、ニコニコこども館において、保育士との親子あそびでストレスを解消しつつ、臨床心理士と親がミーティングを行い、震災等に起因するものも含めた心の不安等についての相談を受ける。</p> <p>③保育士等からの子どもに関する相談会 年延べ12ヶ所の公立保育所において、保育士から、震災に起因するものも含めた心の悩みや気になる児童の保育方法等についての相談を受ける。</p>																																																																																				
事業費	1,770,832 円																																																																																				
意図	臨床心理士が子どもの発達や問題行動、保育方法など、子育てに関する相談を受けることにより、震災に起因する保護者等の心の不安を取り除くとともに、保護者や保育士が、子どもの心と体の健やかな発達をより適切に促す。																																																																																				
対象	<p>①郡山市元気な遊びのひろば(ペップキッズこおりやま)を利用する保護者</p> <p>②就学前の子ども及びその保護者</p> <p>③公立保育所の保育士</p>																																																																																				
事業実施結果	<p>①相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> <p>②参加人数 ()内は個別相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>20(3)</td> <td>23(3)</td> <td>25(3)</td> <td>15(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>10(0)</td> <td>-</td> <td>25(1)</td> <td>-</td> <td>25(2)</td> <td>-</td> <td>143(15)</td> </tr> </tbody> </table> <p>③開催箇所数 ()内は相談を受けたクラス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>1(2)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>3(5)</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1(2)</td> <td>2(2)</td> <td>1(1)</td> <td>1(2)</td> <td>1(2)</td> <td>-</td> <td>12(18)</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月		1	2	4	1	0	2		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	8	3	2	-	5	-	28	4月	5月	6月	7月	8月	9月		-	-	20(3)	23(3)	25(3)	15(3)		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	10(0)	-	25(1)	-	25(2)	-	143(15)	4月	5月	6月	7月	8月	9月		-	1(2)	1(1)	1(1)	3(5)	-		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1(2)	2(2)	1(1)	1(2)	1(2)	-	12(18)
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																
1	2	4	1	0	2																																																																																
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																															
8	3	2	-	5	-	28																																																																															
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																
-	-	20(3)	23(3)	25(3)	15(3)																																																																																
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																															
10(0)	-	25(1)	-	25(2)	-	143(15)																																																																															
4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																
-	1(2)	1(1)	1(1)	3(5)	-																																																																																
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																															
1(2)	2(2)	1(1)	1(2)	1(2)	-	12(18)																																																																															

【事業実施結果による自己評価】

①子育てに関する心のケア相談会

ペップキッズこおりやまは、保護者同伴での利用となっており、保護者が子どもを見守りながら、日ごろ気になっている子育ての悩み(発達の遅れ、しつけ等)や放射能の影響、家族の問題などについて臨床心理士に気軽に相談できることから、この相談会の開催に合わせて遊びに来る親子もおり、重宝されていると思われる。

また、屋内遊び場の特徴として、まだまだ放射能への不安を抱える保護者が利用する割合も高く、県外避難から帰還した親子が生活に不安を抱え、子どもの学校不適應に関する相談を求められたことに対しアドバイスをすることもあった。

この支援は、日頃の育児不安を支えるとともに、放射能に関する不安や帰還者の再適應支援の相談にも役立っていると感じる。

相談件数については、1回(3.5時間)当たり平均で2.8件であり、後半に相談件数が伸びていることから、良好に実施されたと考える。

②親子あそびと親ミーティング

毎回10組以上の親子が参加し、予約で定員がすぐ埋まるほど盛況であり、子育て中の保護者にこの支援がよく活用してもらえた。

近年、1歳半健診でも発達の遅れが気になる子どもが震災前に比べ目立って増加しており、震災後の不安定な子育て環境の中で、子どもの発達に心配を抱え、孤独でストレスを感じている保護者も多いことから、親子あそびを行なって愛着を形成し、親同士のミーティングで臨床心理士が寄り添いアドバイスをすることで、「笑顔が戻った」、「自宅に帰って経験した親子あそびを実践し、子どもと楽しく関わられた」、「親同士で日頃の育児の不安やストレスを共感し、励まし合うことができた」といった声をいただいた。

また、最後に保護者が希望すれば、臨床心理士が個別に相談を受けており、1回につき平均2名の相談があり、その中で、ミーティングでは話せないようなより深い育児や家族関係の悩みに対してアドバイスをすることができており、良好に実施できた。

③保育士等からの子どもに関する相談会

延べ12箇所の保育所に臨床心理士が2名で出向き、保育士から相談を受け、クラスの様子を観察し、気になる子どもへの対応の仕方や、保育上の工夫点などのアドバイスを行った。

震災後、発達に問題がある子や反応性愛着障害等を抱え、保育士がコントロールできない子が増加し、保育現場では保育に支障をきたしていることもあり、保育所での様子を観察し、見立てと対応の助言を行い、必要な関係機関へつないだケースもあった。

また、同じ保育所に2回訪問し、1回目に訪問した際のアドバイスが効果を持ったか確認し、更なる助言を行った。

このように、丁寧な支援を行ったことで本事業の意図である「臨床心理士が相談を受けることにより、保育士が、子どもの心と体の健やかな発達をより適切に促す」ことができ、ほとんどの保育所において気になる子どもへの対応等の問題の改善が図られたことから、良好に実施できた。

【今後の課題等】

①子育てに関する心のケア相談会

一度きりの出会いの支援ということもあり、さらに相談が必要なケースについて関係機関へのつながりが難しいことから、他の機関との連携方法に工夫が必要と考える。

②親子あそびと親ミーティング

事前予約の電話が多く、毎回予約を断っている現状から、開催回数が足りないと感じる。

少なくとも月1回開催できるといい。

また、虐待等深刻な問題や、発達障害等治療機関若しくは市の福祉のリソースにのせたほうが良い事例も多々あることから、関係機関へのつながりに工夫が必要と考える。

③保育士等からの子どもに関する相談会

派遣された臨床心理士からのアドバイスの効果が評価され、保育現場からは支援回数の増加を望まれている。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業は、子ども、保護者及び支援者の総合的な心のケアを目的としている。

子育てに関する心のケア相談会は、ペップキッズこおりやまにおいて継続的に実施している業務であり、リピーターもいることから、来所者に広く浸透していると認められる。

なお、本年度から月2回実施していたものを月1回としたことで、相談件数は前年度よりも減少しているが、震災の影響や子育て全般の悩みをもつ保護者が子どもを遊びに連れて行くと同時に、気軽に相談できる環境を整えることができた。

親子あそびと親ミーティングは、本年度から実施した業務であり、予約の時点で定員を超えるなど、子育て中の保護者にとって、幅広い子育ての悩みを共有し情報交換できる有意義な場となっている。

また、受託者の評価にあるとおり、親子の絆がより深まったとの声も挙がっていること、個別相談も同時に実施していることにより、きめ細やかな心のケアができていることから、子ども及び保護者の心のケアに大いに役立ったと認められる。

保育士等からの子どもに関する相談会も、本年度から実施した業務であり、臨床心理士が保育所へ出向き、普段の行動を観察することでより具体的なアドバイスをすることができた。

また、同じ保育所を複数回訪問することにより、アドバイスの効果を検証することもでき、更なる助言をするなど、よりきめ細かいフォローをすることができている。

上記のとおり、各業務とも心に不安を抱える保護者等に対し、きめ細やかなケアをすることができていることから、本事業は良好に実施されたと認められる。

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成 29 年 2 月 20 日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

運動実技講演会及び研修会実施業務

【事業概要】

事業内容	<p>子どもたちが自ら楽しんで体を動かし遊ぶことができるよう導くことができる指導者を養成し、日常的に利用する施設等において実践できるよう、以下の事業を行う。</p> <p>①講演会 運動あそびの指導者として必要な理論的背景を学ぶため、30 分程度の講義を受講する。</p> <p>②研修会 子どもたちの運動量の確保と運動あそびの技術向上のため、幼児期運動指針と郡山市版幼児期運動実践プログラムに基づく実技を学ぶ。</p> <p>③保育施設等を活用した親子の運動あそび 保護者が子どもとともに自宅で運動遊びを実践できるよう、保育施設等で親子に直接運動実技を指導する。</p>																																																								
事業費	1,987,200 円																																																								
意図	震災後、子どもたちの運動量が減少し、体重の増加や体力の低下が見られたことから、子どもの運動に関するエキスパートを養成し、子どもたちにフィードバックすることで、運動機会の増加や、十分な運動量を確保できるようにする。																																																								
対象	全市民																																																								
事業実施結果	<p>講演会及び研修会参加人数:342 人</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>東部体育館</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>東部体育館</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>東部体育館</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>東部体育館</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ニコニコこども館</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>東部体育館</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>カルチャーパーク</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table> <p>親子の運動遊び参加人数:63 人</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>尚志緑ヶ丘幼稚園</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>尚志緑ヶ丘幼稚園</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>						月	場所	参加人数	4	-	-	5	東部体育館	22	6	東部体育館	12	7	東部体育館	18	8	ニコニコこども館	25	9	ニコニコこども館	15	月	場所	参加人数	10	ニコニコこども館	26	11	-	-	12	東部体育館	11	1	ニコニコこども館	67	2	東部体育館	10	3	カルチャーパーク	136	月	場所	参加人数	5	尚志緑ヶ丘幼稚園	35	2	尚志緑ヶ丘幼稚園	28
月	場所	参加人数																																																							
4	-	-																																																							
5	東部体育館	22																																																							
6	東部体育館	12																																																							
7	東部体育館	18																																																							
8	ニコニコこども館	25																																																							
9	ニコニコこども館	15																																																							
月	場所	参加人数																																																							
10	ニコニコこども館	26																																																							
11	-	-																																																							
12	東部体育館	11																																																							
1	ニコニコこども館	67																																																							
2	東部体育館	10																																																							
3	カルチャーパーク	136																																																							
月	場所	参加人数																																																							
5	尚志緑ヶ丘幼稚園	35																																																							
2	尚志緑ヶ丘幼稚園	28																																																							

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、子どもの保育・教育現場に従事する関係者への具体的支援であり、継続的に実施することによって、下記のような成果が上がってきていることから、良好に実施されたと考える。

①講演会及び②研修会

運動遊びの指導者あるいは、保育・教育現場に従事する関係者にとって必要な理論が周知され、例えば、各現場で運動の機会を確保する、体力テストを確実に実施する、保護者の参加を促す、さらに家庭での取り組みの促しなどが行われるようになった。

③保育施設等を活用した親子の運動遊び

保育・教育現場に運動等の専門家が訪問、指導する事業は他にも行われているが、震災当初から同じメンバーが携わることにより、現場との連携がより密接になり、現場での遊びの重要性の認識が図られてきた。

さらに、実施した内容は、ホームページ等で閲覧出来るように配慮し、参加出来なかった関係者へも情報提供している。

なお、本事業は、平成 26 年から委託業務として継続的に実施されており、同様の事業が他市町村に取り入れられたり、福島県教育委員会の新規事業の原型モデルとなったり、その有効性が拡散されている。

【今後の課題等】

保育・教育現場での人手不足も相まって、定期的な実施にも関わらず、参加できる関係者が減少している。各現場への出張などの方策もより積極的に行っていく必要がある。

さらに、今年度は、3回ワンセットのカリキュラムにするなど、参加者が技術を習得しやすいように工夫をしたが、今後も同様の工夫が望まれる。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業を受講した参加者が、自身の所属する市内の保育施設等において講演会及び研修会で学んだ遊び方等をフィードバックしたことで、同じケアプロジェクト事業である「運動や食事についてのアンケート調査」によると、1週間の総運動時間が「0分」の子どもの割合が、前年度に比べて男子で0.3%、女子で 0.4%、「60分未満」の子どもの割合が、前年度に比べて男子で 1.2%、女子で 2%減少しており若干ではあるが改善傾向となっていることから、子どもたちの運動量の増進に寄与していると認められる。

また、平成27年度までは参加者の減少傾向が続いたため、カリキュラムの内容について工夫したことで、平成28年度は前年度を上回る参加者数となっている。

以上のことから、本事業は良好に実施されたと認められる。

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成 29 年 2 月 20 日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

絵本の読み聞かせ実施業務

【事業概要】

事業内容	ニコニコこども館、各地域子育て支援センター、ペップキッズこおりやま、クローバー子供図書館など、郡山市が指定する子育て関連施設において、親子を対象に年間 96 回、1回 30 分程度の絵本の読み聞かせやわらべ歌、指人形劇等を実施する。 また、読み聞かせ者、及び子育て関連施設との連絡調整を行う。																																										
事業費	518,400 円																																										
意図	幼児期に絵本を読み聞かせることにより、言葉の発達を促し、震災後のストレスに起因すると思われる心の乱れを安定させ、情操の健全な発達を促す。 また、本事業をきっかけに、家庭における読み聞かせを普及し、親子の触れ合いがより深められるようにする。																																										
対象	市内各子育て関連施設に来所した親子																																										
事業実施結果	読み聞かせ実施回数:年間 96 回 参加人数:2,307 人(3 月 8 日現在) <table border="1"><thead><tr><th>月</th><th>回数</th><th>参加人数</th><th>月</th><th>回数</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>4</td><td>7</td><td>126</td><td>10</td><td>10</td><td>269</td></tr><tr><td>5</td><td>9</td><td>170</td><td>11</td><td>9</td><td>225</td></tr><tr><td>6</td><td>8</td><td>200</td><td>12</td><td>5</td><td>142</td></tr><tr><td>7</td><td>9</td><td>203</td><td>1</td><td>7</td><td>152</td></tr><tr><td>8</td><td>8</td><td>283</td><td>2</td><td>8</td><td>190</td></tr><tr><td>9</td><td>9</td><td>249</td><td>3</td><td>2</td><td>98</td></tr></tbody></table>	月	回数	参加人数	月	回数	参加人数	4	7	126	10	10	269	5	9	170	11	9	225	6	8	200	12	5	142	7	9	203	1	7	152	8	8	283	2	8	190	9	9	249	3	2	98
月	回数	参加人数	月	回数	参加人数																																						
4	7	126	10	10	269																																						
5	9	170	11	9	225																																						
6	8	200	12	5	142																																						
7	9	203	1	7	152																																						
8	8	283	2	8	190																																						
9	9	249	3	2	98																																						

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、平成26年度から継続的に業務を受託しており、毎回、多くの参加をいただいている。

参加者からは、「家庭でも絵本を読み聞かせる機会が増え、親子の良好な時間を持てている。」等のご意見をいただくことも多く、改めて家庭において母子関係を構築する有効な方法の一つであることを参加者に認識させることができたと思われる。

さらに、PTSDや心のケアについての研修も受けた読み手が出かけて、母子それぞれの特徴や個性に配慮しながら読み聞かせることにより、言葉や情操の発達への導きや、さりげないアドバイスなどを提供するきっかけにもなっている。

以上のことから、この事業は良好に実施されたと考える。

【今後の課題等】

本事業は平成26年から継続的に業務を受託しており、各施設の来所者に定着した事業となっている。

近年では、参加者からは、実施回数の増加や他の施設での実施等の依頼があることから、ニーズに応じた実施方策を検討する必要がある。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業については、平成28年度は前年度を上回る参加者数となっている。

保護者から絵本や指人形劇などの希望を聞き入れるなどしたことから、リピーターの増加が参加者の増加につながっていると認められる。

また、自分が子どもの時に読み聞かせを体験できなかったという保護者から、「親子で参加し事業を楽しんだ上、読み聞かせのコツを学ぶことができ、自宅で子どもと触れ合う楽しみが増した。」といった意見が寄せられる等、家庭においても読み聞かせが活用されている。

以上のことから、本事業は良好に実施されたと認められる。

郡山市震災後子どものケアプロジェクトに係る受託業務評価書

平成 29 年 2 月 20 日

【受託法人名】

認定NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク

【受託業務名】

「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」運動や食事についてのアンケート調査業務

【事業概要】

事業内容	子どもたちの運動の状況、生活環境の状況、食事の状況についてアンケート調査により把握し、その内容を評価・分析する。 ・アンケート調査票の作成、印刷、配布、回収、質問への対応。 ・回収されたアンケート調査票のデータ入力、集計、分析及び評価。 ・分析結果及び評価結果を掲載した冊子作成及び各施設への配布。 ・個人アンケート結果をCDに移し、改善のための基礎資料として各施設へ配布 ・アンケートに御協力いただいた施設等に対し評価結果報告会の開催。
事業費	9,622,800 円
意図	子どもたちの普段の運動状況、生活状況、食習慣を把握し、分析することで、震災に起因すると思われる運動能力低下及び体重増加の解消など、子どもたちの健やかな育ちを見守るための事業展開の検討に必要な基礎資料とする。
対象	市内の保育所等、小学校、中学校に通う、今年度5歳～15歳になる児童及び生徒（未就学児童については保護者が、小中学生は本人が回答。）
事業実施結果	①調査時期 平成28年9月～10月 ②データ集計 平成28年11月～平成29年1月 ③分析・評価 平成29年1月～3月 ④調査・分析結果 別紙のとおり 【アンケート調査実績】 ・対象施設数 204施設(保育所:81施設 幼稚園:33施設 小学校:61施設 中学校:29施設) ・対象者数 31,989人(保育所:1,714人 幼稚園:3,692人 小学校:17,003人 中学校:9,580人) ・回答者数 28,474人(保育所:1,188人 幼稚園:2,648人 小学校:15,759人 中学生:8,879人) ・有効回答率 89.0%(保育所:69.3% 幼稚園:71.7% 小学校:92.7% 中学校:92.6%)

【事業実施結果による自己評価】

本事業は、平成25年度から継続して実施されており、毎回約90%の回収があり、一般的なアンケートの回収率を大きく上回っていることから、関係各所で、本事業の重要性が認識され、調査結果が活用されていると推測される。また、子どもたちの生活習慣の実態が施設ごとに把握されるだけでなく、全体との比較なども可能であり、有効性も十分にありと考える。

本年度のアンケート結果の一例をあげると、震災後に屋外活動制限が徐々に解除されたにも関わらず、今現在の学童の屋外活動は短縮しており、逆に屋内でのゲーム等への接触時間が延長されていた。

このような結果が得られ、各現場において、幼児、児童、生徒に対して生活習慣を改善するアドバイスを行える貴重なデータとなっていることから、本事業は良好に実施できたといえる。

【今後の課題等】

現状では、各年度における実施時期にずれが生じているため、同一時期での実施が望まれる。

しかし、保育・教育現場では施設毎の事情があることから、調整が必要である。

また、それぞれの施設で、アンケート結果を活用していただくために、現在は報告会実施に加え、冊子、CD にまとめたものを送っている。今後、さらに有効に活用できるようなフィードバック方法を検討していきたい。

<市記入欄>

【業務委託者としての評価】

本事業は、震災後の子どもたちの普段の運動状況、生活状況、食習慣を把握・分析することで、子どもたちの健やかな育ちを見守るための事業展開の検討に必要な基礎資料とすることを目的としており、受託者の自己評価にもあるとおり、本年度のアンケート回収率は各施設の協力により 89.0%と高く、市内の保育・教育施設に在籍している子どもたちの運動と食事についての実態をほぼ把握することができた。

また、アンケートに御協力いただいた施設の関係者向けに調査結果報告会を開催し、分析結果及びそれに関連する事項について説明し、併せて各施設にデータをフィードバックし、近年、全国的な課題となっている子どもの運動能力低下及び体重増加について取り組むための有意義な基礎資料となっている。

このようなことから、本事業は良好に実施されたと認められる。